



勲章授与の説法

(前半)

ニャーヌッタラ大長老

2013・5・26 於新宿 801 説法会

ブッダの教えが栄えるように行った徳、ブッダの教えによって幸福をもたらすために行った徳、ブッダの教えを守るために行った徳、大長老の徳、戒・定・慧の徳 このような徳に満たされた尊敬すべき特別な大長老に、ミャンマー政府は昔から勲章を授与し、その大長老が亡くなるまで生きている限り四資具を布施して応援してきました。今年 2013 年 1 月 4 日 (金) には、以上の徳に満たされたセヤードー・バツダンタ・ニャーヌッタラ大長老にミャンマー政府はアツガマハーサツダンマジョーティカダツジャ“正法の光を世界に輝かせる最上の偉大な智慧者”勲章を授与して、セヤードー(ニャーヌッタラ大長老)が亡くなるまで生きている限り四資具を布施して応援します。四資具とは①衣、②食事、③住む所、住居、④薬です。

セヤードー (ニャーヌッタラ大長老) がこの勲章を得る前から、バツダンタ ケサラ大長老とセヤードーに、お釈迦さまの教えが伝わるための活動をするためにミャンマー ヤンゴンにあるマハーアウンミエ僧院が建っている土地をミャンマー政府が布施しました。

お釈迦さまの教えに吉祥経があります。パーリでは Maṅgalasutta といいます。日本語では、吉祥経といわれています。吉祥経の中で、お釈迦さまは説かれました。

プージャー チャ プージャーネツヤーナン エータン マンガラム ッタマン
Pūj ā ca pūjaneyyānaṃ etaṃ maṅgalamuttamaṃ.

「尊敬すべき人々を供養することは最上の吉祥である」

国が、尊敬すべきお釈迦さまの弟子を認めて供養することはミャンマーという国の優れた特徴です。日本人である皆さんも、セヤードーに出会ったから尊敬すべきお釈迦さまの弟子、特別な大長老を供養して最上の吉祥を得ることができました。もう 1 つのお釈迦さまの教えがあります。

この Maṅgalasutta という吉祥経の中で

ガーラウォ チャ ニヴァート チャ サントウツティ チャ カタンニユター
Gāravo ca nivāto ca, santuṭṭhi ca kataññitā;

カーレーナ ダン マ サ ワ ナン エータン マンガラム ッタマン
Kālena dhammassavanaṃ, etaṃ maṅgalamuttamaṃ.

「尊敬すべき人を尊敬すること。謙虚であること。満足すること。感謝すること。折にふれ法を聴くこと。これらは最上の吉祥である」

と、お釈迦さまは、このようなことはめでたいことであると説かれました。

お釈迦さまが説かれているように、皆さんの人生を考えてください。このようにお釈迦さまの教えを聴くことのできる人々は普通ではない。ここに集まった皆さんは尊敬すべき特別な大長老を尊敬し、謙虚です。満足しています。ブッダ・ダンマ・サンガの三宝の徳と恩、師の徳と恩に深く感謝しています。今この説法会でセヤードーからお釈迦さまの教えについて説法を聴いています。皆さんはお釈迦さまの説かれている最上の吉祥をたくさん得ていることを知って喜んでください。普通ではない。このようなことは、世界では簡単なことではありません。皆さんのカルマもあるし、過去世のカルマと今世のカルマもあるし、セヤードーのような長老に出会うカルマもあるし、色々な原因が揃っているから、このような特別な人間になりました。このことを分ってください。以上はお釈迦さまの教えです。

尊敬して供養すべきこと

尊敬して供養すべきことは5つあります。

1. お釈迦さま ブッダ

生命存在の真理を覚られ、大慈悲をもって人々を正しい道へ教え導いてくださったお釈迦さまです。お釈迦さまを尊敬して皆さんは供養しています。

2. お釈迦さまが説かれた法 ダンマ

お釈迦さまの正しい真理の教えを皆さんは尊敬して供養しています。

3. お釈迦さまの弟子 比丘サンガ

お釈迦さまの教えである戒・定・慧をその通りに実践し、教えがなくならないように守り伝えている比丘サンガ、比丘サンガを皆さんは尊敬して供養しています。尊敬すべきことがあるから尊敬しています。尊敬すべきことがあるから供養しています。

4. 自分を生み育ててくれた徳と恩のある父母

親は自分の人生にとって命の恩人であり初めての先生です。親の徳と恩を皆さんは尊敬して供養しています。

5. 自分を教える先生

徳と恩のある先生。自分の人生が善くなるように正しい道を導いてくださった先生。この先生の徳と恩を念じて皆さんは供養しています、応援しています。輪廻の中を渡るとき正しい先生が大事なことです。先生がなければ大変なことです。

以上の5つがあります。この5つについてもセヤードーは戒律の本『テーラワーダ仏教が伝える戒律』の中で最初に書きました。

この5つの尊敬して供養すべきこと以外に この5つの中に入らないですけど「戒律・禅定・智慧が増大するように一生懸命実践している人」にも尊敬して供養すべきです。皆さんも時々瞑想会に参加するとき、戒・定・慧を実践しているから尊敬され、供養されています。パーリ言葉で

グナ ヴッダ
はGuna vuddhaといわれています。Guna とは徳という意味です。徳とは戒律・禅定・智慧の意味

です。**vuddha**とは増大するという意味です。組み合わせて**Guna vuddha**。戒律・禅定・智慧という徳が増大するように実践する人という意味です。

また、自分より年長の人にも尊敬して供養すべきです。パーリ言葉では^{ワヤ ヴッダ}**Vaya vuddha**といわれています。**Vaya**とは年を取ったという意味です。**Vuddha**は増大するという意味です。組み合わせて**Vaya vuddha**年長の人に尊敬して供養するという意味です。

以上の尊敬して尊敬すべき事に供養するやり方は5つあります。

- ①身体的行為で供養する。
- ②口的行為で供養する。
- ③心的行為で供養する。
- ④財産で供養する。
- ⑤法で供養する。



これら5つあります。

それでは1番目の身体的行為で供養することとはどういう意味でしょうか？

さきほど話したブッダ・ダンマ・サンガなどの尊敬して供養すべきことの徳と恩を念じて自分の身体的行為で合掌して礼拝しています。これは身体的行為で供養することです。ブッダ・ダンマ・サンガの三宝の徳と恩、自分の先生の徳と恩に、身体的行為で合掌して礼拝して供養しています。

2番目の口的行為で供養するはどういう意味でしょうか？

尊敬して供養すべきブッダ・ダンマ・サンガなどの三宝の徳と恩を念じて声を出して、言葉に表して、唱えることは口的行為で供養することです。だから皆さんは口的行為で声を出してブッダの9徳、ダンマの6徳、サンガの9徳を唱えています。自分の口的行為で理解して唱えています。時々三帰依を唱えています。これが2番目の口的行為で供養するということの意味です。

3番目の心的行為で供養することとはどういう意味でしょうか？

尊敬して供養すべきブッダ・ダンマ・サンガなどの三宝の徳と恩を皆さんは心の中で繰り返して繰り返して念じています。声を出さずに瞑想しています。ブッダ・ダンマ・サンガなどの三宝の徳と恩を皆さんは心の中で繰り返して繰り返して念じて喜びの心が生じます。喜びの心が生じるのは心的行為で供養するということです。時々仏随念 ブッダーヌサティ、法随念 ダンマーヌサティ、僧随念サンガーヌサティなどの瞑想を実践しています。ブッダの徳と恩、ダンマの徳と恩、サンガの徳と恩を、声に出さずに心の中で繰り返して念じたから喜びの心が生じています。喜びの心が生じるのは心的行為で供養する意味です。

自分の身体的行為、口的行為、心的行為が揃うとき、高い功德が得られます。ある人は身体的行為だけ、口的行為、心的行為が揃わない。ある人は口的行為だけ。身体的行為、心的行為が揃わない。心的行為だけで供養する人もあります。お釈迦さまの教えを勉強している皆さんは、身体的行為、口的行為、心的行為で供養しているので、とても高い功德が得られます。高い功德が

得られるためにも勉強してください。勉強しなければわからない。だから勉強すべきことです。説法を聴くべきことです。一回の説法の中でもわかったら、たくさん功德を得ます。

4番目の財産で供養するとはどういう意味でしょうか？

財産で供養することとは、尊敬して供養すべきブッダ・ダンマ・サンガなどにお花や食べ物・飲み物のような自分の財産を布施すること、供養することです。このことをパーリ言葉では **Āmisapujā** といわれています。財産で供養するといえます。**Āmisa** とは財産という意味です。**Pujā** とは供養という意味です。組み合わせて **Āmisapujā** 財産で供養するという意味になります。

ある人は自分の財産に執着しています。供養しない。ある人はそうではない。自分の財産をちゃんと使っています。布施すべきときに布施して供養すべきときに供養しています。このことを **Āmisapujā** 財産で供養するといえます。わかる人は財産で供養しています。わからない人は執着しています。

5番目は法で供養することです。

これは難しいです。法で供養することとはどういう意味でしょうか？供養すべきブッダ・ダンマ・サンガなどの教えられた法の通りに実践したら法で供養することになります。このことをわかるためにがんばってください。このことをパーリ言葉では **Dhammapujā** といわれています。

Dhamma とはお釈迦さまが説かれた法です。**Pujā** とは供養すると言う意味です。組み合わせて **Dhammapujā** お釈迦さまの説かれた法で供養するという意味です。ブッダ・ダンマ・サンガなどの教えられた法の通りに実践したら、法で供養することになります。

財産で供養する人は立派な人ですが、財産だけでは十分ではありません。戒律を守り、慈悲の瞑想、ヴィパッサナー瞑想など、お釈迦さまの教えを実践してください。セヤードーの教えるお釈迦さまの法の通りに実践したら、法で供養することになります。財産で供養することもあります。法を実践して法で供養することもあります。両方供養することができればとてもすばらしいです。

このように、尊敬すべき人を供養することは最上の吉祥であるとお釈迦さまは説かれました。

(後半に続く)

